

キ
奇

大・可(よろしい)

大いによろしい。

めずらしい 例 珍奇・奇計

一つ(ただそれだけ) 例 奇数

不思議 例 奇術・奇跡

あやしむ 例 奇怪

注 音は可^カが変化してキ。ka ki

キ
崎

珍しい山(海の中に突き出たゴツゴツした岩の多い変化に富んだ山)

みさき(ふつう岬と書き、この字は山崎・長崎など、熟語として用いられ、“さき”と読まれることが多い)

キ
× 埼

珍しい土地(変化に富んだ景勝の地)

崎と同じく“さき”と読まれる

キ
× 綺

珍しい糸(あや模様のある絹糸)

きれい 例 綺麗(綺のごとく美麗の意)

イ
× 倚

人は珍しいものに依^よりつく

依りつく 例 倚託・倚頼

注 依^イ(よる)と同音同義。

イ
× 椅

寄りかがるための木製の道具

椅子(いす)

キ
寄

家に身を倚せる

身をよせる 例 寄宿

よせる(よる) 例 寄稿・寄港

問

次のことばの説明をしなさい。

経緯 綺羅星

答 縦糸と横糸。これで布ができ上がる。事の次第、いきさつの意味に用いられる。 羅は薄く透き通った絹、綺も羅もともに美しいの意で、大空に輝くたくさんの美しい星のことから、えらい人の多く集まっていることにたとえられる。